

スクールトピックス



ミズキの木の枝に団子を飾る園児

こども園で団子さし さくらこども園

さくらこども園では1月10日、五穀豊穡や無病息災を願う伝統行事「団子さし」を行いました。

園児たちは、同園の玄関ホールに設置された大きなミズキの木の枝に自分たちで丁寧に丸めた団子を取り付けました。

園児たちは「団子を丸めるのが楽しかったです」、「とてもおいしそうな匂いがしていました」などと感想を話しました。

さとうきび親善大使が来町 翁島小学校

「さとうきび親善大使」を務める沖縄県西原町立坂田小学校6年生の玉那覇心愛さんと大城考太郎さんは1月15日、翁島小学校を訪れ、翁島小の児童と交流を深めました。歓迎会では、翁島小3～6年生の児童が合唱やダンスを披露して歓迎したほか、両校の児童がそれぞれの学校の特色や取り組みなどを紹介しました。また、さとうきび親善大使の2人が沖縄の伝統芸能「エイサー」を披露しました。



「エイサー」を披露する玉那覇さん(右)と大城さん

12年後の自分へ手紙 小学校6年生

12年後の自分に宛てた手紙などを宝箱に入れる「えとタイムカプセル埋設式」は12月18日、猪苗代ハーブ園で行われ、町内の小学校6年生の児童103人が参加しました。式では、猪苗代の子どもの夢を応援する会の鈴木長治会長らがあいさつ。児童を代表して長瀬小学校の佐瀬遥希さんと加藤風愛さんが将来の夢を発表しました。児童は手紙などを入れた宝箱に鍵を掛け、その鍵を入れたカプセルを同園内に埋設しました。



自分に宛てた手紙などが入った宝箱に鍵を掛ける児童ら

献血への協力を呼び掛ける 猪苗代高校

猪苗代高校JRCインターアクト委員会の生徒6人は12月24日、「全国学生クリスマス献血キャンペーン」の一環として、町役場で行われた献血に合わせてボランティア活動を行いました。

生徒たちは、町役場を訪れた人たちに献血の協力を呼びかけたり、献血をした人に記念品などを手渡したりしました。3年の佐藤一真さんは「若い人たちにも協力を呼び掛けたいです」と話しました。



献血協力者に記念品を手渡す猪苗代高校の生徒

笑顔でこんにちは



大好きなパパ、ママと一緒にハイ、チーズ！

勇登くんの名前には、どんなに高い壁が立ちかはかろうとも勇ましく登ってほしい、という思いが込められています。

土屋 勇登^{ゆうと}くん

平成27年2月生まれ
～壺下

勇輝さん・美香さんご夫妻の長男

先日、ママの美香さんと2人でバングラデシュを旅行した勇登くん。勇登くんにとって今回が初めての海外旅行です。「勇登は人見知りしない性格なので、あまり不安はなかったです」と美香さんは話します。勇登くんは、現地の子どもたちと一緒に遊口を教えながら一緒に遊んだら、「リキシャ」という乗り物に乗ったりして、バングラデシュ旅行を満喫しました。

勇登くんは普段、美香さんが代表を務める自主保育サークルで友だちと森を探検したり、畑で泥遊びをしたりして過ごしています。美香さんは「たくさんの人と出会って自分の世界を広げてほしいです」と話します。パパの勇輝さんは「将来は、果敢に挑戦する姿で周りの人を勇気付けられる人になってほしいです」と話しました。

※「笑顔でこんにちは」に掲載希望の人は広報担当までお申し出ください。
☎(62)2111

地域おこし協力隊通信

私たちが地域を元気に！

地域おこし協力隊

遠藤 孝行^{こうぎょう}さん



ヒト、モノ、コト、企業、地域、文化など、それぞれが持つ価値や可能性を最大限引き出し、世界の発展に寄与することをミッションに活動しています。

株式会社アウレの由来
Awaken Resource(資源を目覚めさせる)
→ AWRE(アウレ)

今年の3月をもって地域おこし協力隊としての任期が終了となります。私が猪苗代町に移住した当初は、猪苗代どころか福島県内にもほとんど知り合いがおらず、どうやって地域で活動したら良いか全く検討もつきませんでした。しかし、実際に移住してこの地で暮らすなかでさまざまな課題が見えてきました。少子高齢化、人口減少、それに伴った働き手不足、空き家や廃校の増加など、どの地方でも起きていることがここ猪苗代でも起きています。

この状況を少しでも改善するため、昨年7月に株式会社アウレを設立しました。幼い時期から猪苗代の魅力を感じてもらうため新しい形の教育事業(集まりいな)、より多くの方に猪苗代の魅力を感じてもらうための観光事業、町外の方にも猪苗代を知ってもらうため情報発信事業を開始しました。

今後も猪苗代に残り、活動は継続していきますので、引き続きよろしく願います。
株式会社アウレ 遠藤孝行
電話：080-3801-5349
メール：info@awre.co.jp